

7月3日に静岡県熱海市で大規模な山崩れが起き、土砂災害の映像を見た多くのではないでしょうか。一週間後の7月10日に九州で大雨特別警報が発表され、昨年の熊本県の磨崖川が氾濫するなど九州を中心とした令和2年7月豪雨を想起した方もいると思います。いずれも7月半年の一つ月分以上の雨が、1日から数日のうちに降るような大雨となりました。毎年のようにどこかで、気象による大きな災害が起きています。自分が避難する立場になるかわりません。自治体から発令される避難情報が年から一部変わりました。警戒レベル1と2は今までと変わりませんが、警戒レベル3では「高齢者等は避難」、警戒レベル4では「全員避難」になりました。ここまでに全ての人が避難を終わらせるようそのための情報になります。警戒レベル5になると、すでに災害が発生している可能性が極めて高い状況になっています。避難することが困難な場合には、今いる建物のより高階へ移動し、山や崖の斜面に面している所では、斜面の反対側に移るなどの少しでも安全な場所へ避難することが大切になります。また、新たな情報として線状降水帯が発生したときに「顕著な大雨に関する情報」が発表されるようになりました。線状降水

帶は最近耳にする言葉ですが、次々と発生する発達した雨雲が、列をして数時間にわたり、ほぼ同じ場所にかかり続けようとする水域のことです。発表基準は、降水域が線状であることや、前3時間算積降水量最大値が150mm以上であること、災害のおそれが高いことなどです。この情報は予測ではありません。発表されたときにはすでに線状降水帯が発生し、災害が起きている可能性があるため注意が必要です。また、これらの情報が出ていない時でも災害が起きることがあります。災害の予兆を見逃さずに、早めに避難することが大切です。土砂災害の予兆としては、普段とは違う音やにおいがあることなどが挙げられます。これから秋にかけて台風が多い時期になり、災害に対する油断が出来ません。今一度、住んでいる地域のハザードマップや非常食などの避難用品の確認をしておきましょう。また、災害が起きる時間帯が日没から夜に至っても避難方法や避難経路が変わることもあります。いろいろな状況を想定しながらご家族で話し合い、実際に避難経路を辿ってみることも大切なことです。

日本気象協会 牧 良幸

特別顧問	丹羽 崑（日本空港ビルディング顧問）	理事	木本 芳明（国連世界観光機関駐日事務所代表）	理事長	大島 憲子（国立大学法人筑波技術大学監事）
理事長	寺前秀一（人気観光研究所長）	副理事長	岡村 道（元小田急トラブル社長）	理事	杉 行（理事）
事務局長	須田 春（東海旅客鉄道顧問）	分家静男（元財水市長）	堤 瑞（元宮崎放送）	山田早苗（元近畿日本ツーリスト）	
理事	近藤節夫（日本ベンカクラブ会員）	長尾亜夫（西日本鉄道相談役）	澤田利彦（松蔭大学学長補佐）		
団体会員	今井智康（ケーターケープルズ（株）代表取締役）	月夜美人（茨城県立大学院生）	高橋寅朗（元JR小田急トランシスム取締役社長）	幸田保馬（元JR東日本社長・佐藤和弘（会社事務所相談役）	田坂友隆（NHKインター・ナショナル専門委員）
	片山裕司（花園神社宮司）	香掛博光（元旅行先発編集長）			
	アイスカンパニー 一般財団法人HANKYUインターナショナル 株式会社えんせいひ 小田急電鉄株式会社				
	社団法人らしさのサーサンタberger 株式会社グリーンキャップ 株式会社マントナタジャパンリミテッド				
	三普旅行社有限公司 住友電設株式会社 大成建設株式会社 大成設備株式会社 大成有楽不動産株式会社				
	株式会社舟共社 第一交通産業株式会社 株式会社ダイエーコンサルタント 東海旅客鉄道株式会社				
	財團法人東京観光財團 西日本鉄道株式会社 公益社団法人日本観光振興協会中部支部				
	日本空港ビルディング株式会社 専門学校日本ホテルスクール 幌島電鉄株式会社				
	福岡国際空港株式会社 北海道空港株式会社 株式会社ホテル小田急 ホテルトロボリタン				

集 復 後 記：梅雨が明け、真青な空から強い日が差し始めた7月23日、2020 東京オリンピックの開会式が夜8時から始まった。この日の昼には、航空自衛隊ブルーインパルスにより、世界の平和のシンボル、五色の輪が競技場上空へと舞いながら、式場は観客で、競技場附近の道の目立つ見物の人群が群っていたという、前代未聞の奇妙な光景が広がることになった。「206ヶ国・地域」からの参加、開会式の各国選手団の入場は、「日本語で標記した五十音順」で行われた。最初の「ギリシャ」と、開催国「日本」が最後なのではなく、最初のものである。初めて来る「アリランジ」などの他の国名は「カタナ」が、中には漢字のものもあつた。具体的には英米、北アドニア、赤道ギニア、大韓民国、中央アフリカ、中華人民共和国、東ティモール、米領サモア、バハマ諸島、南アフリカ、スダーン、日本である。最初の「ギリシャ」の次は「難民選手団」「JRC O C」であった。聞け慣れないR O Cとは、ドーピング問題で「国」として参加出来なかった「コソア・オリエンピック委員会」のことだ。2028年開催国（アメリカ合衆国）、2040年開催国（フランス）は最後の「日本の手前であり、これまで何回恒例のこと。無観客のためか、高揚感や華やかさには欠けたが、いろいろ工夫された開会式であった。しかし、今回のオリンピックは「デモンディック」という困難の中で、「開催でき」という強烈な商業主義の匂いが漂る、懐だしだけ開催となることは残念であり、多くの課題を残した。とりわけ、開催を楽しむためにして訪日外国人観光客や世界中の観光関係者が報われなかったことは、オリンピック開催の意義が問われることになった。そこで、今後の観光業界の活性化に資する觀光立国政策として、**<日本へのGo To JAPANキャンペーン（旅行代金の一部を還付>**の実施を、日本政府に提案してみてはどうかと思う次第である。

特許審査官連絡会員（NPO）
JAPAN NOW
観光情報協会
東京都港区東麻布1-27-3
TEL06-00444
 fax 03(5989)10902
 FAX 03(5989)0903
 E-mail info@japannow.org
 https://www.japannow.org/

発 行 人：寺前 秀一
編 集 長：杉 行夫

主な配布先：会員、中央官庁、地方政府、民間企業マスコミなど



NPO法人 **JAPAN NOW**
138 Non-Profit Organization JAPAN NOW Tourism Information Association.

東京都知事が認証した「都市・環境・観光 NPO」が発信する隔月刊情報誌
第138号 発行日 2021年 8月 15日

P1 - JAPAN NOW誌の精神 / 新刊本紹介

P2 - 鉄道車両は動く文化財⑥ / COLUMN

P3 - セミナー・講演録 第169回

P4 - NEW SPOT ◎

P5 - 旅は世につれ…

P6 - 五輪に思う / NPOから提案

P7 - アメリカご縁話 / セミナー報告 第170回

P8 - 気象と天気 / 編集後記

JAPAN NOW誌の精神

JAPAN NOW 観光情報協会
副理事長 岡村 道



日本初ホテル情報紙
(ハートドローイバージン)

JAPAN NOW 初創刊号表紙

情報誌「JAPAN NOW(英文對訳)」の創刊にあたって、「この本はまず人間へ集中に書かれるべきだと思う。我々は己の生き方について、理屈があるなしにかかわらず、おもしろいからやっている人々に登場することにした」と述べている。JAPAN NOWは長年にわたり、日本の文化・風俗・宗教などの観光、とりわけ古典芸能を支えるおもしろいからやっている人々に光をあて、独特の臨場感、人間感触(五感)、情念、絆、ストーリー性を醸し出す編集で、訪日外国人をはじめ多くの宿泊客を魅了し、毎年、300軒の著名ホテル・旅館に9万部が頒布されていました。

監督は1986年、専修学校・日本映画学校(現日本映画大学)を小田急の新百合ヶ丘で廃校し、生徒たちに「人間とはなんぞもいろのものか、人間觀察が肝要です」と教えていました。

監督は「おもしろいからやっている」映像人の育成に務めるとともに、映像現場の一次情報を丁寧に収集し、情報化するという、情報における一次産業を大切にしたでした。

昨今は、新聞記者が現場を取材せず、ネット情報を組み合わせただけの記事を書いていると問題視されています。これはデジタル化の急速な進展により、人間の五感が軽視され、「情報化」の作業を慢漫にし、「情報処理」に偏重している、社会が空疎・無味乾燥化して「空氣」が人々を動かしている背景もある

と思われます。本協会の名称「ジャパンナウ」は今村監督から無償で使用権をいたいたのです。

願ひは、本協会のJAPAN NOW紙は、観光がくおもしろいからやっている>市井の人々により多くのご登場いただき、監督の精神を受け継ぎ、観光の一次情報を大切にした、人間の情念、ストーリー性(ロマン)に満ちた紙面づくりに邁進すべきであると思うのです。

書評

時刻表は様々なことを語る

長宗我部家 17代当主 長宗我部 友親

『鉄道と地図』(鉄ぶらックス)

須田良、野々村利夫 共著(交通新聞社)

大学生のところ福岡県の門司港の近くに住んでいた父親が転勤族であったので、宝塚の近くや軒に移ったこともある。門司では、家の上の山のほうで

あつたので、家から少し上のほうに登ると閨門海峡がよくみえた。そんなこともあって、「鉄道と地図」の「地形閨門トンネルを見る」の項を読みました。わたしが住んでいたころは、1942年に開通した

鉄道主体の閨門トンネルしかなかったが、現在は1975年開通の「蘭新幹線の海底トンネル」ができる。

さらには高速道路の道路橋に国道2号の道路トンネルもある。海の底と海上の双方に新しい「道」がつくられたのがわかる。この地は平均の昔の昔は、源氏と太平が死闘を繰り広げた場所である。時刻表の「鉄道と地図」は、その鉄道地図の

なかで、ついでに「鉄道と地図」の「地形閨門トンネルを見る」の項を読みました。その鉄道地図の歴史や読み方との本は、丁寧に教えてくれる。また、「日本の鉄道のあゆみ」の項目では、明治から令和までの鉄道の歴史が、懶かしい機関車の写真なども添えられて、解説されている。

鉄道車両は動く「文化財」⑥ 「気動車」の元祖「蒸気動車ホジ 6014」

JR 東海 顧問 須田 寛



上下写真:ホジ 6014

その名の通り「蒸気で動く客車」のことです。明治39年「鉄道国有法」が成立する。

日本全国の鉄道は「一方で上に2個スルモノノ除外」すべて国有化されることになりました。それまで日本の鉄道は既に数千軒の路線が完結していましたが、約半分は国有化の鉄道一官鉄、残り半分は民間会社が建設経営する民鉄といわゆる私鉄に分かれています。

鉄道路線はつながっていても経営自体が異なるため直通列車の運行を全体としての鉄道システムが円滑に機能していくことに問題があったことから日露戦争後の鉄道国有法制定につながったのです。

明治41年頃までに「一方の用に供する」大都市圏の鉄道（今日の大手私鉄の前身）と地方ローカル鉄道を除いて17社の鉄道が国に買収され国鉄となりました。そのなかには当然客貨の輸送量が少ないローカル支線も多く含まれていたのです。当時の鉄道は蒸気機関車（SL）が客車貨物を牽引して走るいわゆる汽車が中心でした。汽車の輸送力は大きいのですが、終点で機関車の付替えと方向転換が必要です。このため小単位の

写真提供:交通新聞社

COLUMN

儲けものの「物々交換」

海外渡航が自由化されてからしばらくの間、海外旅行の土産品はウィスキーのジョニーウォーカー、黒ラベル（ジョニーブラック）が断つて人気No.1だった。ウィスキー3本と紙巻タバコ200本を帰国情報に免税品として持込むことができ、海外へ出かけると誰もが持まってそれら免税品を買い求めたものである。友人の中には今度海外へ出かけたらジョニーブラックを頼むとい、厚かましい輩が随分いた。

今から半世紀ほど昔、アフリカの地図上に黒1本と引き換えに、豪華な野生チータの毛皮を手に入れたことがある。ナイル川の上流、白ナイルと青ナイルが合流し飛沫と虹の中に夢幻的な魅力を演出する、スダーンの首都ハルツームへ出かけた時のことである。安宿のロビーや飲みかけのジョニーブラックから取り出したところ、ひとりの地元の若者が裸足のままにじっと寄ってきて、そのジョニーブラックを交換してくれないと唐突に声をかけられた。ほんばれするほど見事な木彫りの民芸品だったので、即座に「OK」と応じた。しばらく話し込んでいたうちに、彼がまだ栓を開

2

列車には無駄が多いです。買収の結果ローカル支線を多数かかえることになった国鉄も輸送量の少ない多くの支線を効率的に経営するため外国の例を参考に客車の一部に小型の蒸気機関（ボイラー）をはめ込み機関車と客車を一体化して1両で運行する蒸気動車を導入しました。

オーストリアから明治41年に7両の蒸気動車を輸入、国鉄のほか、近江、河内、博多湾の各鉄道会社で使用開始されました。客車の片端にボイラーがあり、ここで機関士が石炭をくべて蒸気を発生させ、パイプを通じて車輪に直結したシリンダー（汽筒）に送って車輪を回転させます。運転席はボイラー横にあります、ボイラーと反対側の車端にも運転席がありワイヤーを外して蒸気の投入量を加減したり反対方向へのまま運転ができるので機関車のように終点での転向の必要がなくなりました。

一両の単行運転が原則ですから地方の小単位の輸送を効率的に行うことができます。今回当時の蒸気動車の原型がそのままの姿で残るJR東海のリニア鉄道展示のホジ 6014号車（大正2年矢作車両社製造）が機関室と客室を一両に合造した小単位の輸送効率を高めその後の蒸気動車の原型ともなった」としての重要な文化財に指定されました。なお 6014号車は運送後官鉄西線（関西地区）で使用されたあと、筑豊地区的配置を経て、名古屋鉄道が買収しました。戦闘戦後の混乱期でほとんど使われないまま保管されて、その後同社の「明治村」で展示されています。その後旧国鉄が貴重な記念物として譲り受け整備の後現在は名古屋の「リニア鉄道館」で展示されています。

（注）「ホジ」の由は車両の重量区分を示す記号「J」は自動車両を示す記号（現在この記号は使われていない）

写真提供:交通新聞社

けてないジョニーブラックがあれば、誰もが欲しがるチータの毛皮と交換してもいいと囁いた。しばらくして若者は豪華なチータの毛皮を抱えて戻って来た。直ぐに部屋へ取って返し、まだ開栓しないジョニーブラックをチータの毛皮と交換した。

今では野生動物の保護法上、チータなど野生動物の無許可の捕獲は認められていない上に、絶滅危惧種の身体の一部などを国外へ持ち出すことは禁固に禁じられている。当時はまだ保護法もなく万事に手順い時代で、「物々交換」によるチータの毛皮も問題なく持ち出せた。帰国時に空港税関で咎められることが多かった。あの「物々交換」によって豪華なチータの毛皮を手に入れて大儲けした得意満面だった。その一方で開栓していないウィスキーも、現地の若者にとっては儲けものだったよう、まさに「ウインウイン」の取引となった。異民族間対立が続くスダーンでは、10年前に南スダーンが分離独立したが、その後も部族同士の争いが絶えないと、ナイル川合流地点の魅力的な観光スポットは、現在どうなっているだろうか？あの毛皮を交換してくれた若者は、あの後ジョニーブラックをどうしただろうか？ふと想い出すことがある。

エッセイスト 近藤 節夫

アメリカこぼれ話 74 「何故、珍珠湾攻撃は騙し討ちになったのか？」

元 JTB 取締役 北村 崇



眞珠湾攻撃の直前にハワード・スミス議長と最後の会談
臨む野村と吉田と米軍機関軍(1941年11月17日)

写真: wikipedia 1941年 11月 17日

http://www.jcar.go.jp/nichibei/popup/pop_29.htm

て、ダーティー・ジャップと罵られ、米国民の怒りを買い、米国民の戦意を高揚させた。

当時の駐米大使は野村吉三郎であった。野村は海軍出身の国際派であり、豊富な国際会議の経験があり広い人脈が買われての赴任であった。この頃の外務大臣松岡洋右による任命である。松岡は外務省側の意向を無視して駐ソ大使には陸軍の権利美次、駐独大使には大島浩を据え異例の軍人人事を敢行した。先出の外交官たちは面白くなく、非協力者もいたようだ。通告の遅れは大使館内の暗號解説、タイプ打ちの時間が必要以上に伸びたからと言われている。大使館では3人のアメリカ人�이들이が書いたが、本省からこの電文のタイプは一等書記官のみが行うこと命令じたが、担当の書記官はタイプが上手でなく雨だれ式だった。外務省からの断交通告の文章は、日本時間の6日午後4時半から7日の午後4時（ハワイ時間6日午前1時半～6日午後9時）までに13通に分割して送信されている。

観光立国セミナー 第170回 7月 9日 会場:MFPF 渋谷4階

フリーランス・ライター 北出 明

私が初めて「観光立国セミナー」で講演させてもらったのは、2012年2月10日の第74回のある時であるから、足かけ10年になる。その時のタイトルは「杉原ビザのユダヤ難民を支えた日本人人々～ハイバウンドの原点を探る～」というものがだった。その後も2度、機会を与えて貰い、今は実に4回目となった。

さて、振り返ってみて、私の講演のテーマは一貫して、杉原千畝に関連する「命のビザ」が基調となっている。そのため、私がいかにも杉原千畝の研究者であるののように受け取られることがあり、面映ゆさと戸惑を感じることがしばしばである。率直に言って、最近の私はむしろ杉原千畝しか知らない。しかし、彼は、ウラジオストクから敦賀に到着したユダヤ難民74名が書類不備のために上陸できなかった際、入国証明書を出して彼らの日本入国を助けたことで知られています。

次に、ボーランドの外交官として、初代駐日大使を務めたテデウシ・ロメル。難民たちの多くはボーランドから逃げてきたユダヤ人々で、当然のことながらボーランド国籍であつた。「ユダヤ人であろうとなかろうとボーランド国民である以上、彼らを保護するのは大使である私の使命」としてロメルは、次の行き先国へのビザをもっていかなかった多數の難民に必要な数のビザの確保に尽力した。

この講演会においては、オランダ大使館のテオ・ペーター

ス大使によるビデオ・メッセージを播放したほか、ボーランド広報文化センターのマリア・ジュラフスカ所長の参加を得、直接スピーチを聞くことができたのは幸いであった。

電文を外交文書に作り替えるには充分な時間の余裕があった。大使館内の電信課からの解読電報は、迅速に行われ、書記官室に届けられたが、書記官たちは仲間の送別会があり、外出しており、翌朝まで文書作成作業は行われていなかった。7日前には本省から断交通告は7日午後1時に手交するよう指定する電報が届き、直ちにハルク國務長官と1時会見の約束を取り付けた。しかし、文章作成作業の遅れで、会見を1時45分まで延期せざるを得ず、実際には野村大使と来栖特命大使の國務省に到着したのは2時5分、控室で待たされて、ハルク國務長官に会見したのは2時20分になってしまった。

この時期には、日本の外務省と大使館との暗号電文は全てアメリカ情報機関に解読されており、アメリカの人材派遣会社から派遣されていた3人のアメリカ人タイピストはスパイではないかなどとは言われている。情報がアメリカ側に漏れていた可能性がある。

通告遅れの原因は

- 1) 大使館内部の人間関係の悪さ～取り分け軍出身の大使と外務省派遣の書記官
- 2) 事務連絡の不手際～電信課と書記官

3) 緊張感の欠如～断交通告には開戦には触れていないが重要な電報だと解ったはず

これらが積み重なり、日本は卑怯な国、ダーティー・ジャップと呼ばれることになった。

三国連携」とした。「波」はポーランドの漢字表記である「波蘭」の略で、「日独伊三国同盟」をもじったもの。

まず、二人のオランダの外交官。最初は、杉原千畝が日本への通過ビザを出すことを可能にした「キヨソービザ」を発給したヤン・ツバルテンダイク領事（杉原千畝と同じく、リトアニアのカウナスに駐在）。二人目は、當時神戸のオランダ領事館にて勤務していたドーフォート領事。彼は、ウラジオストクから敦賀に到着したユダヤ難民74名が書類不備のために上陸できなかった際、入国証明書を出して彼らの日本入国を助けたことで知られています。

次に、ボーランドの外交官として、初代駐日大使を務めたテデウシ・ロメル。難民たちの多くはボーランドから逃げてきたユダヤ人々で、当然のことながらボーランド国籍であつた。「ユダヤ人であろうとなかろうとボーランド国民である以上、彼らを保護するのは大使である私の使命」としてロメルは、次の行き先国へのビザをもっていかなかった多數の難民に必要な数のビザの確保に尽力した。

この講演会においては、オランダ大使館のテオ・ペーター



7

コロナ禍に一人負けの人流観光ビジネス

人流観光研究所所長 寺前 秀一

コロナ禍でも、世界経済はそれほど落ち込んでいないようだ。PAYPALによると、世界的なオンライン小売売上高は前年の3.35兆ドルから4.28兆ドルへと100兆円急増し、21年には4.89兆ドルまで伸びると試算している。日本の国 2020年度税収も60兆円と過去最高となった。長引く新型コロナウイルスの影響は軽微にとどまっている。景気回復で先行する海外経済を背景に企業業績はさほど落ち込まず、消費、所得税もそれぞれ想定を上回った。

日本のGDPは昨年第2四半期2.8%減、第3四半期2.4%増と乱下高した。政府の唐突な宣言による学級閉鎖等のショックの影響したもの、世間はすぐに対策を立て元に戻り、人流観光だけが元に戻れなかた。経済のサービス産業動向調査等で今年1月～4月のデータを調べると、航空運輸、旅行業、宿泊業等が下位にある。その背景にはインバウンド需要がほぼ消滅している事情がある。19年の訪日外国人消費は48兆円で旅行消費額の17%を占めていたが、コロナによってほぼゼロに落ち込んだ。その4分の3は中国、香港、台湾、韓国であるから、真剣に近隣との国際観光振興をはかるべきだが、メディアは相変わらず嫌、嫌報報道で明け暮れている。観光関連産業の従業者は約900万人、単純計算では、その17%に相当する約150万人が過剰雇用となる。事業者がえられずそれに経営破綻すれば、この150万人が失業するか、非労働化してしまう。

今の首相は役人の手を切る程度で、その隠れは思われているほど強くない。前首相は昨年4月にコロナ患者の病床を5万床にすると発言したが、今年6月になっても3.6万床と目標未達である。社会にベッドはあるが、振り向ける権限がないのである。逆にPCR検査は、権限はあるが政敵に意欲と能力がなかった。その影響が人流観光ビジネスに直接現れているが、人流観光ビジネス関係者は政の遅れ等の問題を認識せず、GOTOの再開を懇願するばかりでは情に堪れない有様である。

データによると我が国の国議員数は先進諸国中最多くあり、議員報酬も最高額、加えて様々な手当や特権があり、それらはすべて国民の血税によってまかなわれているのだ。

つらつら考えるに参議院は廃止して一院制とし、議員の数も三百人程度にすべきではないだろうか。こうすると世襲議員ばかり当選するのではないかという危惧も生じるかもしれないが、それに対してはリコール制度を拝受すればよいだろう。選挙区に関係なく、全有権者がリコールに参加できればこの点は是正できるのではないかと思うのである。

いずれにもしても現在の国会議員の無知、無教養ぶりは、これ以上放置していくべき健全な議会民主主義がいすれ崩壊への途を辿っていくことはまず間違いないであろう。

観光トピックス

令和3年7月26日、オンラインで開催していた国連教育科学文化機関(ユネスコ)世界遺産委員会が「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」(鹿児島県・沖縄県)を、世界自然遺産に登録することを決めた。今は民間PCR無料検査まで普及している。ワクチン行政の遅延は、子宮頸がんワクチン等これまでの国連公報は開いていたとのつけである。1960年代のボリオ大流行時には、政治的決断の元、国内治療を省略して承認している。一人負け状態の人流観光業界こそが率先して政策提言するべきであるが、リーダー不在である。

政治家再教育

小田急電鉄(株)特別社友 利光 国夫



国議事堂 東京都千代田区永田町

私のゴルフ仲間に政治家の再教育の必要を唱えているU君という人物がいる。彼がいうには医師、弁護士、司法書士、国家公務員などにはその資格を問う試験に合格しなければ世間で認められないのに、国政を問う国会議員は選舉に当選しさえすれば通用するというのおかしい。少なくとも憲法、民法、刑法、公職選挙法ぐらいについては最低限の知識の有無を調べる試験を受けさせるべきだというが、近ごろの政治家の言動を見るにつけ私も同感である。

先日もコロナ対策の一環として緊急事態宣言の方針に従わない飲食店に、金融機関や酒類卸業者を通じて圧力をかけるといつて反発を受け、慌てて撤回するというお粗末な事例があったが、これなれば占禁止法の知識があれば有り得ない事態である。担当大臣のみならず、首相以下関係政治家の誰一人事前にストップをかけなかったとはまさに情けない有様である。

データによると我が国の国議員数は先進諸国中最多くあり、議員報酬も最高額、加えて様々な手当や特権があり、それらはすべて国民の血税によってまかなわれているのだ。

つらつら考えるに参議院は廃止して一院制とし、議員の数も三百人程度にすべきではないだろうか。こうすると世襲議員ばかり当選するのではないかという危惧も生じるかもしれないが、それに対してはリコール制度を拝受すればよいだろう。選挙区に関係なく、全有権者がリコールに参加できればこの点は是正できるのではないかと思うのである。

いずれにもしても現在の国会議員の無知、無教養ぶりは、これ以上放置していくべき健全な議会民主主義がいすれ崩壊への途を辿っていくことはまず間違いないであろう。

宿泊業における「コロナ禍現況のリアル」と未来予想図

第169回 6月11日 観光立国セミナー報告より

(財)宿泊施設活性化機構理事長 伊藤 泰斗

◆ 設立の経緯

登壇者伊藤氏は、都市銀行からシンクタンクを経て監査法人系コンサルティングファームに。そこで、零細旅館から超大型ホテルまで、様々な宿泊施設の事業再生を手がけてきた。その結果、他の産業に比して宿泊業に決定的に足りないものが見えてくる。マーケティング・ブランドディング・広報概念、付加価値を上げる(高く売る)という概念、需給に合わせて価格を調整する概念、人時生産性という効率性概念などである。宿泊業界として法令や運用の適正化を図る方向に導くには、政官への業界広報機能が絶対的に必要。そこで、同業者同士のコミュニケーション以外のすべてのコミュニケーションの推進・支援を担務する新しい組織として宿泊施設活性化機構、JALFを設立した。

◆ 活動内容

2015年の設立後、3年半で日本最大の宿泊業界団体となり、政府と業界外への発言力に影響を高めた。第1回の日本宿泊ダボス会議での収益を全額熊本地震に寄付、加えて被災民をキャンセル多発した周辺宿泊施設に収容するというボランティア活動を実施。民泊新法制定にあたっては唯一の民間折衝窓口として取りまとめ、大目標であった旅館業法の改正を遂行。現在は複数社のアセットマネジメント業務や宿泊施設を核とした地方創生実務などを進めている。

◆ 最大の問題は人材不足

超高齢化、少子化に伴い労働人口が著しく減少する。宿泊業の離職率は、全業種でトップつまり、働きやすい職場、働きやすい環境ではないということである。給与水準も全業種の中で最低。コロナ禍にあって、2020年はとにかく現在を乗り切っていくという激動の我慢。今年2021年は、アフターコロナに対して新たな戦略を構築し、着実に手をうつしていく冷静な我慢。では、労働力確保の側面からみると、やることは、1. 給与水順と勤務体系の向上と2. 自動化、AI化、ロボット化の2つしかない。今、JALFでは7つのAI神器の共同開発中である。

◆ ロボティクスの現況

1. 全自動床清掃ロボットは、主に3社から発売されており、軽量、除害物回避をして清掃作業継続、高速回転するパワープラントなどそれぞれに特徴がある。

最近では床清掃ロボットを使用されている家庭も見かけられるようになった。

2. 浴室ユニット全自動洗浄システムについては、現状、自動浴槽洗浄機はソーリングがすでに販売しており、今は全自動浴室洗浄機を開発試行している。浴室8割にスプリンクラー様の洗浄噴射装置を設置し、浴室のドアを閉め、スタートボタンを押すと、湯で予備洗浄、洗剤噴射、脂質溶解、



趣旨：宿泊施設活性化

JALFで研究開発中7つの神器

1. 全自動床 清掃ロボット
2. 全自動窓 清掃ロボット
3. 浴室ユニット全自動自律洗浄システム
4. 全自動食器洗浄システム (機器開発、販売実証、完成化)
5. 自動搬送システムAGV (下層内装を専門)
6. 物品移動の軽減化・省力化
7. 顔認証 & 氏名照合システム (サービス実証)

© 2019 JALF. This material is provided at the property of JALF.

汚れをすぎ落し、浴室自動乾燥、完了となる。これは開発途上である。

3. 全自動食器洗浄システムは、食器を未整理で挿し、残飯を吹き飛ばし、洗浄、完全乾燥と画期的であるが、全長15m、80dBの騒音、約2000万円強の価格と導入には少しハードルが高いシステムである。

4. デリバリーロボットについてはシェラトン、マリオットなど有名ホテルチェーンがアメリカ各都市で導入しており、日本では2017年10月品川プリンスで導入開始された。

今後は「ロボットが掃除しやすい部屋」に空間設計する必要がある。しかし、どこまでロボットに任せ、どこを人間かるべきか、それを見極める運用ノウハウが非常に重要になってくる。また、経営者にいま必要だと思うことは、競争力の源泉は自前で、価値の源泉でない業務は外注するという認識と、従業員の誰かが止められた絶対に補充できない、現從業員に少しでも長く残ってもらう必要があるという認識である。コロナ終息後インバウンドは必ず再興するだろう。「役に立つ」ものは「金額の価値がない」世の中へ、「意味をえる」と「考えない」と事業として成立しない時代に突入している。人間と新しい技術の共存・共創が加速した今、改めて宿泊施設の付加価値について考え直す時である。

第171回 観光立国セミナー開催のお知らせ

9月17日(金)12:00より開催いたします(注:第3金曜日)

■ ■ ■ 要事前予約 ■ ■ ■

場 所：MFPR 渋谷ビル(株)PIM4F 会議室

講 師：北畠 隆生氏

(元経済産業省事務次官・神戸製鋼取締役)

演 題：スポーツと観光・地域振興・

「鹿島アントラーズ誕生物語」

参加費：会員／1,000円 一般／2,000円

※昼食(弁当)付き

兼高かおる賞



正賞を持ち喜びのヤマザキ・マリさん=2021年6月、東京・経団連会館で

マエ」で2010年に第3回マンガ大賞と第14回手塚治虫文化賞短編賞を受賞。15年度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞受賞。17年には文化貢献でイタリア共和国の星勲章コメンダトーレを受章。兼高さんと生前ご縁もあり、兼高者「わたくしが旅から学んだこと」で解説書を書いたり、このたびの授賞式の挨拶で「子どものころ、兼高かおる世界の旅を見るのが毎週楽しみで、地球全体が私達の住処なんだ」と見せてくれた、私が作ってくださった重要な人です。



兼高かおるさん=2012年、パレスホテル東京で

兼高さん——

世界早回り73時間9分新記録

2年前に

90歳で亡くなった兼高さんは1958年に世界一周73時間9分の新記録で一躍話題になり、生涯150余りの国々を取材した。海外旅行者が年間10万人にも満たないころ59年にTBS系TV番組「兼高かおる世界の旅」が始まり30年以上続いた。スペインの画家サルバドール・ダリを自宅に訪ねたり、米ホワイトハウスにジョン・F・ケネディ大統領を訪問したり、日本人女性として初めて南極へ(71年)、アフリカ・チャドのボロク族や中国・新疆ウイグル自治区のカザフ族の女性たちと交流したり、フィリピン・セブ島の祭りで王妃の衣装で神輿に乗って楽しんだり、英ウエールズでチャーチル太子にも会った。番組を終えた後も世界各地を巡り2008年にはキューバを訪ねた。躍動する彼女に憧れ、旅行業界のリーダーや作家、文化人をめざしたひとびとは少なくない。JTWOで斎藤茂太・創立会長のあとを継ぎ二代目会長になり、さらに名誉会長となった。同協会は優

れた紀行作品を表彰し今年第7回を迎えた斎藤茂太賞と兼高賞と、旅の賞2本柱を持つ。また旅の魅力を伝える「旅の良書」を毎年10冊ほど推薦している。

文・写真 林 莊祐

海外旅行ブームの先駆けジャーナリスト、故・兼高かおるさんの業績を称える「兼高かおる賞」の第1回受賞者に漫画家、文筆家のヤマザキ・マリさんが選ばれた。世界早回り保持者だった兼高さんのチャレンジ精神、好奇心などのイメージに重なる人柄や業績を認められたヤマザキさん。企画・行動力、表現力、気品、我慢強さ、プロ根性、茶目っ氣、ユーモアといった要素も選定の基準で、第2第3の兼高さんになる可能性のある人の発掘も狙いだ。日本旅行作家協会(JTWO)と日本旅行業協会、兼高かおる基金の共催。JTWO内に同賞実行委員会を設け、旅に関連し国際貢献に尽くす日本人、団体、放送番組、イベント企画などから一次選考で29者をノミネートし1年間にわたり検討を重ねて絞り込んだ。

ヤマザキさん——14歳で独ひとり旅

第1回に受賞したヤマザキさんは14歳の時にドイツとフランスへの友人を訪ねて1ヵ月のひとり旅。17歳でイタリアに渡り、フィレンツェの国立アカデミア美術学院で油絵・美術史を専攻。若いころから海外生活を経験し、国際感覚を自然と身につけた。エジプト、シリア、ポルトガル、アメリカなどの国々に在住。イタリア暮らしを綴ったエッセー漫画でデビューした。北海道にも住み、地元札幌テレビ(STV)の番組「どさんこワイド」で旅行・温泉のレポートを担当、ラジオのパークナリティも務めるなど活躍の場を広げた。ヤマザキさんの母・山崎豊子さんはヴァイオラ奏者で、北海道に拠点を置く札幌交響楽団の創設時からの團員で、近年は後進の指導に努める。マリさんの著書「ヴァイオラ母さん」は自由奔放な母娘の日々を綴る抱腹絶倒の書だ。

多くの文筆著作をイタリアと日本から発信し、TV番組のコメンテーターとして活動する。古代ローマの浴場から現代日本の風呂へタイムスリップする漫画「テルマエ・ロ

ンビア」で2010年に第3回マンガ大賞と第14回手塚治虫文化賞短編賞を受賞。15年度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞受賞。17年には文化貢献でイタリア共和国の星勲章コメンダトーレを受章。兼高さんと生前ご縁もあり、兼高者「わたくしが旅から学んだこと」で解説書を書いたり、このたびの授賞式の挨拶で「子どものころ、兼高かおる世界の旅を見るのが毎週楽しみで、地球全体が私達の住処なんだ」と見せてくれた、私が作ってくださった重要な人です。

文・写真 林 莊祐

メディアから見た旅の変遷「旅は世につれ・」その(二)

旅行ジャーナリスト 森掛 博光

前回述べたようにオンラインツアーは移動できない状況にあって旅行したいと望む人と旅行地をオンラインで結ぶ、コロナ禍の中で生まれた旅の楽しみ方である。リアルな旅と比べれば大きな違いはあるが、その一方でライブ動画をはさんで現地の人と交流したり興味深い話を、場合によってはマンツーマンで聞けたりなど実際のツアーとはひと味違う体験が楽しめる。

私の隱岐諸島や沖縄の離島についてのオンラインツアーを紹介した記事に対して、「単なる映像鑑賞だと思っていたら、ライブ感があって濃密な交流ができるのを知つて驚いた。古いで自由が聞けない私でも世界中を遙れそろ」とコメントを寄せてくれた年配の方がおられた。

自分は移動しないということで、身体の不自由な方や長時間の移動が難しい方などにも喜ばれているようで、隠岐諸島のツアー(主催は島根県)をコマディネートした隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会の話では、2年前に全国の特別支援学校の生徒を対象にオンラインツアーを実施したところ大変喜ばれ、「これでも隠岐を巡るひとつのツアーダと気づきました」という。そうした体験が今回のオンラインツアーの企画につながったのだろう。



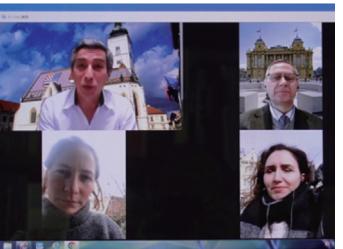
隠岐諸島・知夫里島の手作り工房=筆者撮影

また、このオンラインツアーを運営した地元の旅行会社はすでに昨年から15回実施した実績を持つが、ツアー後の参加者の声を聞くと、「98%の人が、次ぜひ実際に行ってみたい」と答えたという。オンラインツアーが旅行地選びの有効な手段であることを示唆しているようだ。

沖縄県の離島ツアー(主催は沖縄県)でも、アンケート結果を見ると、「とても満足」が76%、「離島へ訪れていた」が78%と新型コロナの収束後の旅行P.R.に貢献していることが窺える。沖縄県の離島というディステネーションのせいかな、参加者は20~40代の女性が多かったが、このほか、60、70代の方もあり、幅広い層が参加している。1人でも気軽に参加できるのもオンラインツアーの特徴のひとつと言える。

沖縄県ではこうした結果を踏まえ、コロナ後も修学旅行の事前学習や介護施設でのレク活動との提携など様々な

利活用を検討したいと語っていた。



クロアチアの首都ザグレブの町歩きでは駐日大使も参加=筆者撮影

さらに、クロアチアの首都ザグレブの町歩きのオンラインツアー(クロアチア・ハートフルセンター主催)では、駐日クロアチア大使館のボラジェン・フラスティチ大使も参加。ザグレブ市民の休日の楽しみ方や学生時代の思いなど語り、これに現地のガイドさんも加わり、日本の参加者がチャットで交流するなど違いザグレブが身近に感じられるやりとりが続いた。オンラインツアーならでは楽ししかもしれない。ツアーフィードバックに、「満足した」が50%、「大変満足した」が17%とあり、満足している人が多い印象を受けた。また、事前に当地的ワインを送ってもらい、そのワインを味わないからゆかりのワナリーをオンラインで訪ねるツアーには50%の人が関心を寄せていた。こうした特産品を購入してのオンラインツアーは国内でも行われているが、軌道にのれば観光地での土産品を購入したり食事をしたりするのと同じ様に地域への経済貢献をもたらすメリットもある。



オンラインツアーではライブ配信と併せて、ビデオ画像も汎用にして使われる筆者撮影
コロナ禍という異常を強いられている中で、異日日常の世界とも言われる観光をオンラインによって居ながらにして楽しめるようになった。これからは様々な理由で旅に出られぬ人もオンラインツアーによって見知らぬ土地や憧れの地を知り、そこに暮らす人々とライブによって会えることも可能になったと言えるだろう。新しい旅の世界がまた、一つ広がった。「旅は世につれ・」で、その形も楽しみ方も色々に変わることを教えてくれているようだ。